



本質防爆 エア駆動式高圧洗浄機 Hydra-Clean® LT

最大吐出圧31MPaの
移動式高圧洗浄機です。

■動力が圧縮空気です安全

- ・ATEX認定（防爆区域用途）

■冷水から温水が可能

- ・70℃までの温水が使用可能



■吐出圧力調整が可能

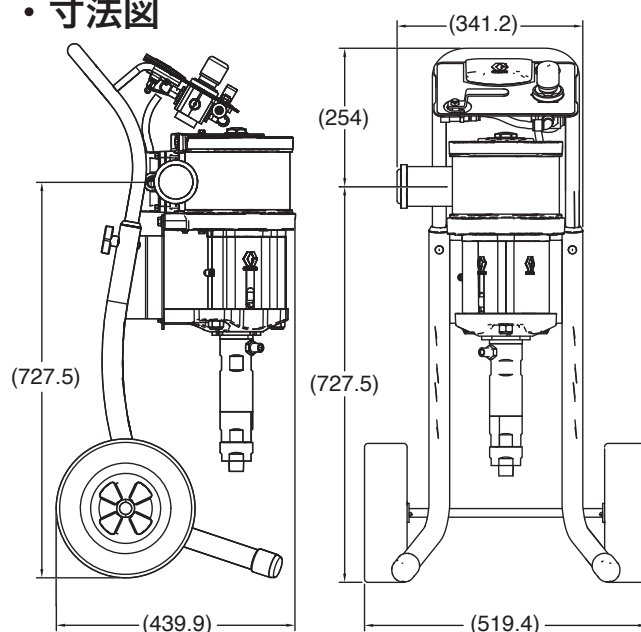
- ・レギュレーターで圧力調整が可能
- ・最大吐出圧31MPa

・仕様

モデル	Hydra-Clean® LT
最大吐出圧力	31.0MPa
最高エア入口圧力	0.7MPa
最大吐出量 (60サイクル時)	3.0L/min
最大エア消費量 (0.7MPa時)	1,217L/min
ポンプ圧力比	45:1
周囲エア温度範囲	2℃～49℃
最高液体温度	70℃
エア接続口径	3/8
重量	46kg



・寸法図



予備知識

「工場火災の恐ろしさ」「防火対策の取組の要約」とハイドラクリーン

① 工場で起こる最も恐ろしい事故とは火災である。

- ◆可燃物や爆発物に引火すると瞬く間に大惨事になってしまう。
- ◆高額な設備機器類の多くが焼失または機能停止・再生不能となる。
- ◆大量の化学物質や薬品へ引火し周辺へ甚大な環境汚染を及ぼす。
- ◆企業イメージの低下や被災者への保証等を含めると損失は、はかり知れない。



② 工場火災の多くは設備・機器から発生している。 火災3要素「酸素・可燃物・熱源」念頭に防火対策

- ◆設備・機器からの火花拡散防止
- ◆可燃物の置き場の見直し
- ◆工場内で使われている引火性液体を引火性の無い代替品等への変更検討

「火災発生時の損害拡大を防ぐこと」とは、

「火災を制御する」「損害をこうむる可能性のある財物や人の量の制御」の
二つ考え方から構成されます。

- ◆消火設備による初期消火活動や避難訓練
- ◆引火性液体や可燃性ガスの緊急遮断・緊急時における可燃物の除去や供給制御

③ 工場火災防止に向けた防火活動では、「経営層の強い関与」が非常に重要です。企業や工場の現場担当者が安全対策を講じようとしても、予算や人的資源に制約が存在したり、安全よりも利益を優先するような企業風土が残っていたりする状況では、十分な対策を講じることは期待できません。トップが安全を最優先する姿勢を示すとともに、安全対策のための適切な予算配分や設備投資、人的資源の投入を実施することで、安全および防火活動を強力に推進していくことが求められます。

④ エアー駆動式高圧洗浄機（ハイドラクリーン）の有効性

- ◆エアー駆動式で本質防爆です。
- ◆電気動力配線等が不要で漏電や感電の心配は不要です。
- ◆エアーホースの接続だけで即使用可能です。